消防団ってどんな組織？

消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、消防署に勤務している消防職員とは異なり、普段はさまざまな仕事や学業をしながら地域の安心と安全を守るために活躍しています。

火災はもちろん、地震や風水害などの災害発生時には消火活動だけでなく、警戒活動や応急救護活動なども行っています。

実際に活動する3人にインタビューしました！

消防団活動を通じて、自分自身の成長を感じたことはありますか？

災害時の活動や訓練を通じて、使命感が生まれたことです。自分の知識や経験を後輩たちに伝えていけたらと思っています。

消防団活動を通じて、地域にどのような貢献ができていると感じますか？

消防団活動は火災出場だけではなく、地元町会の方々との防災訓練やお祭りの警備など、いろいろな場面で一緒に活動しています。自分たちの活動で、地域の防災意識や災害時の対応など、共に向上していけていると思います。

本部分団長
益田（ますだ） 健（けん）さん
（50代）
獣医師

消防団に興味のある方にメッセージをお願いします

消防団活動は普段かかわることのない業種の仲間がたくさんでき、いろいろな意味で視野が広がります。災害や訓練を経験することで、日常生活にも役立つ知識を得ることができます。

あなたもぜひ、消防団活動を体験してみませんか？

入団したきっかけを教えてください

地域の役に立ちたいと思ったことと、知り合いに声をかけてもらったのがきっかけです。

第一分団の雰囲気や特徴を教えてください。また、入団前と入団後のイメージのギャップはありましたか？

明るくて楽しい雰囲気です。気軽に相談しやすく、初めての訓練でみんなが丁寧に教えてくれたことが印象的でした。厳しいイメージでしたが、思ったより雰囲気が優しくて、サポート体制がしっかりしていると感じました。

第一分団団員
福岡（ふくおか） 成美（なるみ）さん
（30代）
小売店勤務

今後挑戦してみたい訓練や活動はありますか？

放水訓練や現場対応の知識をもっと身につけたいです。

消防団に興味のある方にメッセージをお願いします

初めは少し不安でしたが、私でもできたので、少しでも興味がある方はぜひ、一緒に活動しましょう。仲間がしっかりサポートしてくれます！見学、相談お待ちしています。

学生で入団したきっかけを教えてください

高校生の時、通学路に消防署があったことをきっかけに消防車両に興味を持ちました。後に市報で消防団という組織があることを知り、入団を希望しました。

消防団活動を通じて、地域にどのような貢献ができていると感じますか？

幸いなことに小金井市は火災が少なく、消火活動で貢献できたことはまだありませんが、防災訓練や火災予防運動を通じて市民の方々に火災予防を呼びかけ、小金井市の安心安全を守ることに貢献できていることは誇りに思います。

消防団に興味のある学生や若者へメッセージをお願いします

現在、小金井市消防団では9人の学生が活躍しています。市民の生命と財産を守る消防団活動に興味がある方はぜひ、一緒に活動しましょう！

第三分団団員
南（みなみ） 悠水（ゆうすい）さん
（20代）
大学生

小金井市消防団

小金井市消防団は本部と5つの分団の団員定数83名で構成されています。

所属する消防団員は年齢は19歳から66歳と幅広く、普段は会社員、自営業、学生など本来の仕事や学業をしながら、市民生活の安全・安心を守るために幅広い分野にわたって防災・消防活動を行っています。

また、市内で火災などの災害が発生した場合や広く火災予防を呼びかけるため、定期的にサイレンの吹鳴を行っております。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

サイレンを吹鳴するタイミング

- 市内で火災が発生した場合に市民への警報目的のため実施
- 毎月1日（1月を除く。土曜・日曜・祝日は、翌日以降の最初の平日）の午前8時に、広く火災予防を呼びかけるため実施
- 3月と11月に火災予防運動市内巡行広報を実施
- 定期的に夜間警戒活動を実施（午後8時頃）

小金井市消防団章

地域の防災ボランティア「消防団員」募集!!

ご応募お待ちしています！

地域の防災リーダーとなりうる消防団員を募集しています。入団に関心のある方は、見学ができます。

市内在住・在勤・在学の18歳以上の方。男女問わず入団できます。ぜひ、皆さんの力を地域の防災力向上のために、お役立てください。

入団申込フォーム

問 地域安全課消防防犯係（☎042-387-9807）

地域安全課・安治川

消防団の活動

平常時の活動

火災に備えた訓練

基本動作を習得するための規律訓練や消火のための放水訓練など、災害活動力を高める訓練を行っています。

警戒活動

夜間や火災予防週間中、消防ポンプ車に乗って市内巡回をするほか、祭りの警備など、地域の安全安心を守る活動をしています。

地域と連携した活動

防災訓練や地域の催し物が行われる際に、火災予防の呼びかけや初期消火などの指導を行っています。

災害時の活動

消火活動

火災が起きた際は、自宅や職場から現場に駆けつけて消火活動を行います。

救助活動

火災や地震、台風などの災害発生時には、消防署と連携して、迅速な消火・救助活動を行います。

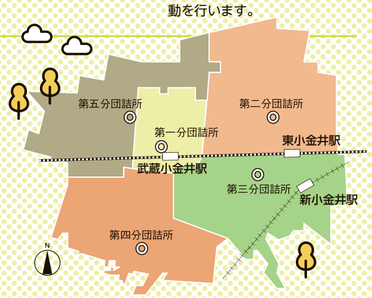
水防活動

大雨などにより増水した河川の警戒、機材等を活用した水防工法、住民の避難誘導等の活動を行います。

受け持ち区域

火災などの災害が発生すると、団員はそれぞれの消防団詰所から消防ポンプ車で災害現場に出動し、小金井消防署と連携して活動します。

また、応援協定を締結している武蔵野市、三鷹市、府中市、小平市、国分寺市の建物火災の際にも出動する場合があります。



分 団	受け持ち地区
第一分団（本町5-2-28）	本町1丁目8～10番・15～20番、本町2～6丁目
第二分団（梶野町5-7-20）	関野町、梶野町、緑町
第三分団（中町2-19-25）	東町、中町、本町1丁目1～7番・11～14番
第四分団（前原町5-9-18）	前原町、貫井南町1～2丁目、3丁目1～2番、貫井南町4～5丁目
第五分団（貫井北町3-1-2）	桜町、貫井北町、貫井南町3丁目（1～2番を除く）

年間行事

と き	行 事
1月 第2日曜日	出初式
3月	春の火災予防運動巡行広報
4月（隔年）	規律訓練
5月	水防訓練
6月（隔年）	消防ポンプ車操法審査会
9月	北多摩地区消防大会
10月	上級救命講習
11月	こがねい防災フェスタ（総合防災訓練） 秋の火災予防運動巡行広報
12月 28・29日	通常点検訓練・団員研修会 歳末特別警戒
年1回	教官派遣訓練

出初式

消防ポンプ車操法審査会

北多摩地区消防大会

学生の方へ

学生消防団員数は年々増加しており、小金井市でも大学生の時に入団し、今も活動を続けている消防団員がいます。消防団活動を通して、職業や年齢の異なる人脈を広げ、大学やアルバイトでは得られない貴重な体験をしてみませんか。

消防団員として社会貢献に努めたことを評価し、**就職活動を支援する学生消防団活動認証制度**もあります。

社会人の方へ

就業形態や社会構造の変化に伴い、全国の消防団員の約7割が会社員です。小金井市でも、普段は会社に勤めている消防団員が活躍しています。

会社員の場合、仕事と消防団活動との両立が難しいと思われがちですが、訓練等は休日や終業後の時間を使って行っています。

災害補償等

団員が災害現場等での事故発生に対する災害補償や退団したときの退職報償などを行っています。

消防団員傷害保険

団員が消防活動中あるいは、自分の仕事等で負傷または死亡したときに保険金が支給されます。団員全員について市が加入しています。

消防団員福祉共済制度

消防団員が死亡、一定の障害を受けたまたは入院した場合に、その家族の生活を守るための共済制度です。

東京都市町村民交通災害共済

交通事故にあった場合に見舞金が支給されます。団員全員について市が加入しています。

東京市町村総合事務組合（消防団員等公務災害補償等）

この組合は、団員が消防活動中に災害を受けた場合における療養補償などの事務を共同処理しています。

学生消防団活動認証制度

消防団に所属する大学生等が行った消防団活動の功績を公的に認証し、就職活動の支援を行うことを目的として、消防団活動証明書を発行します。

対 象 消防団員として１年以上継続的に活動し、次のいずれかに該当する方

- 市内の大学、大学院もしくは専門学校に通学する大学生等または大学等を卒業して3年以内の方
- 市内在住の大学生等または大学等を卒業して3年以内の方

Comment

認証制度を取得したことで、面接で地域貢献の具体的経験として高く評価されました。責任感や協調性もアピールしやすく、自己PRの幅が広がり、就活では周りとの人生経験の差を感じました。

三輪（みわ）さん
（新社会人）

新庁舎の情報はこちらから確認できます